

# 2017年度 日本生活学会事業計画（案）

（2017年4月1日～2018年3月31日）

## I. 事業活動

- 第44回総会・研究発表大会開催 2017年5月20日（土） 21日（日） 亜細亜大学
- 生活学プロジェクトの運営

## II. 役員会開催

1. 理事会
2. 『生活学論叢』vol.31、32 編集委員会
3. 今和次郎賞2017選考委員会
4. 日本生活学会研究論文賞2017選考委員会
5. 日本生活学会博士論文賞2017選考委員会

## III. 出版物発行・メールニュース配信

- 2017年5月 「第44回研究発表大会梗概集」
- 2017年9月 『生活学論叢』vol.31
- 2018年3月 『生活学論叢』vol.32
- 日本生活学会メールニュースの配信

## IV. 委員会活動

### 1. 総務委員会 委員長 森栗茂一

---

- (1)総会、理事会他運営
- (2)庶務・財務・会計の管理
- (3)生活学論叢への学会記録掲載

### 2. 学術委員会 委員長 三好恵真子

---

- (1) 亜細亜大学において第44回日本生活学会研究発表大会を開催する。
- (2) 研究者の育成、支援の一環として、第4回目の日本生活学会博士論文賞の募集を行う。

### 3. 『生活学論叢』編集委員会 委員長 祐成保志

---

- (1) 『生活学論叢』第31号、第32号の刊行  
第31号 2017年9月発行予定  
第32号 2018年3月発行予定

### 4. 事業委員会 委員長 中谷礼仁

---

- (1)2015年度に発足、事業委員会として支援した「生活学プロジェクト」の第3回目（2017年度）を引き続き実施する。
- (2)事業委員主体のセミナー・シンポジウムの企画開催、他団体との交流
- (3)既往の各種事業に対する状況確認・制度支援を行う

### 5. 情報委員会 委員長 饗庭伸

---

- (1)ウェブサイトの運営 適宜会員向けの情報発信を行う。
- (2)メールニュースの運営 適宜会員向けの情報発信を行う。
- (3)フェイスブックの運営 適宜会員向けの情報発信を行う。
- (4)日本生活学会の100人 若手学会員等を対象にインタビューを行い、記事を作成してウェブサイトで公開する。2017年度は6名の記事を作成する。

## V. プロジェクト活動

1. 生活学ヘリテージ・プロジェクト 代表者 小林多寿子

(1)2017年度は、生活学ヘリテージ・プロジェクト成果の最終公開のフォローアップにとり組む。

(2)成果公開と利用の支援—学会のホームページでの公開を通して、日本生活学会の歴史と学術資料として学会員による円滑な活用を支援する。

2. 『日本生活学会フィールドワークシリーズ』作成プロジェクト 代表者 石川初

(1)会員相互で共有して教育や研究に資する事を目的に、活動年限5年の4年目の活動として、企画テーマを設定して冊子を編集・制作する。様々な形でフィールドワークを実践されている会員に依頼して事例を収集、年度内にまとめる。

(2)主な成果はウェブサイトを通して公開するほか、500部程度の冊子を印刷、会員に送付する。

## VI. 研究会活動

1.国土開発史の研究会 代表者 真島俊一

以上